

科目名	車いす・座位保持装置実習			授業の種類	実習/講義	講師名		
授業回数	53回	時間数	105時間 (3単位)	配当学年・時期	義肢装具士科4年制3年	前期	必修・選択	必修
〔授業の目的・ねらい〕 座位保持装置とは、体幹及び四肢の機能障害により座位姿勢を保持する能力に障害がある場合に用いられ補装具の1種である。本授業では、座位保持装置の製作実習を通して、適応となる障害、座位保持装置の種類と構成要素の知識を習得し、正確な採型、適合技術を習得する。また、付随して車椅子についての採寸、適合についても実習を通して理解を深める。								
〔授業全体の内容の概要〕 講 義： 姿勢、車椅子の適切な評価とポジショニング。車椅子の構成、採寸適合技術。 実 習： 座位保持の採寸、採型、座面クッションの製作。								
〔講師の実務経験〕 義肢装具士として、川村義肢株式会社に勤務。義肢装具の採型適合業務、福祉用具・車いす、シーティングに経験豊富								
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕 姿勢と反射についてのメカニズムを理解し、基本的な座位の評価方法ができる。適切な座位と不適切な座位について、座位姿勢を深く理解できる。座位保持と車椅子の製作に必要な採寸・採型の方法の習得。また、座位保持と車椅子生態力学的根拠にもとづく製作理論について理解し、説明が出来る。								
回数	講義内容							
1	オリエンテーション							
2	姿勢概論							
3	姿勢評価							
4	採寸							
5	すわるって？車椅子シーティングとは							
6	普通型車いすの比較							
7	グループワーク							
8	プレゼンテーション							
9	褥創とシーティングクッション							
10	車いすの基礎知識							
11	採寸・設計・適合・操作方法							
12	採寸実習①							
13	採寸実習②							
14	屋外実習							
15	グループワーク							
16	プレゼンテーション①							
17	プレゼンテーション②							
18	車いす設計フィードバック							
19	適合実技①							
20	適合実技②							
21	電動車椅子							
22	オットボック車いす							
23	車いす実習①（構造とメンテナンス）							
24	車いす実習②（構造とメンテナンス）							
25	車いす実習③（構造とメンテナンス）							
26	危険事例と身体拘束							
27	高齢者の身体特性							

2020 年度

授業概要

科目名	車いす・座位保持装置実習			授業の種類	実習/講義	講師名		
授業回数	53回	時間数	105時間 (3単位)	配当学年・時期	義肢装具士科4年制3年	前期	必修・選択	必修
回数	講義内容							
28	高齢者の身体特性							
29	車いすスポーツ							
30	症例検討①							
31	症例検討②							
32	症例検討③							
33	座位保持装置の基礎知識							
34	オーダーメイドクッション講義							
35	オーダーメイドクッション採寸							
36	オーダーメイドクッション設計・製作							
37	オーダーメイドクッション設計・製作							
38	オーダーメイドクッション仕上げ・適合							
39	オーダーメイドクッション仕上げ・適合							
40	リクライニング車いす							
41	リクライニング車いすの適合							
42	座圧センサー							
43	リクライニング車いすと座圧センサーの適合比較							
44	座位保持装置の製作方法							
45	採型機器の紹介							
46	デモンストレーション							
47	症例後との対処方法							
48	車いすOSCE試験①							
49	車いすOSCE試験②							
50	障害者スポーツ①							
51	障害者スポーツ②							
52	症例検討①							
53	症例検討②							

【 準備学習・時間外学習 】

事前学習：テキスト+配布資料による予習と要点プリント問題。 復習：プリントの復習。

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
義肢装具のチェックポイント 第7版	日本整形外科学会	医学書院
義肢装具学 第4版	川村次郎 他	医学書院
参考：車いす・シーティングの理論と実践	日本車いすシーティング協会	はる書房

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

課題評価（演習レポート・OSCE試験・製作物・グループワーク・プレゼンテーション）の合計点40%+終講試験60%

*ただし終講試験の点数が60%を満たさない場合は再試とする。